

コード	401020101
記入日	H24.5.31

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田 均
担当者	横道 藤隆

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	種苗放流補助事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40102	基本事業名称	栽培漁業・資源管理型漁業の推進	目コード	2
事務事業コード	4010201	事務事業名称	町単独事業費	細目コード	845
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町水産業振興奨励事業補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 漁協		(対象指標1) 3漁協				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・上五島町漁協及び飯ノ瀬戸漁協、有川町漁協の3漁協から、種苗放流の交付申請があり補助金を交付した。 →カサゴ放流 12,000尾 →アワビ放流 62,500個 →サザエ放流 20,000個	*****	*****	*****	交付決定件数-	*****
		① (達成率分析) 種苗放流を確認し、額の確定を行った。	補助金交付件数	3件	100%	交付申請件数
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・種苗放流を継続して実施することにより、資源量の増大を図る。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	放流数÷計画数	*****
		① (達成率分析) 2漁協においてカサゴ種苗12,000個を適水域に放流した。	カサゴ放流	12,000尾	100%	
		② (達成率分析) 3漁協においてアワビ62,500個とサザエ20,000個を適水域に放流した。	*****	*****	*****	*****
		アワビ・サザエ放流	82,500個	100%	放流数÷計画数	平成23年度

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	15	15	12	3	3				
	②									
成果指標	① 尾	112,000	112,000	100,000	12,000	12,000				
	② 個	587,500	577,500	495,000	82,500	82,500				
総事業費 C (A+B)	千円	20,035	20,035	17,030	3,005	3,005				
直接事業費 A	千円	15,135	15,135	12,830	2,305	2,305				
人件費 B	千円	4,900	4,900	4,200	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.7	0.7	0.6	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	20,035	20,035	17,030	3,005	3,005				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	種苗を放流して資源の増大を図る必要があり、事業を継続することで漁業経営の安定につながる。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	放流効果が水揚として確認され、資源の減少が軽減されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	藻場の造成を図る事で、より一層の効果が発揮される。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	種苗購入のみの事業費であり、人件費は漁協が負担している。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	最小手段での実施を行っている。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	放流事業の有効性の確認のため漁協と連携して水揚げ量の把握・検証を経年的に資料として整理しておくこと。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。